



岩屋ダム利水貯水量 6,166万トン (貯水率99.6%)

農業用水取水量 914万トン (取水率21.8%) (ともに6月10日現在)

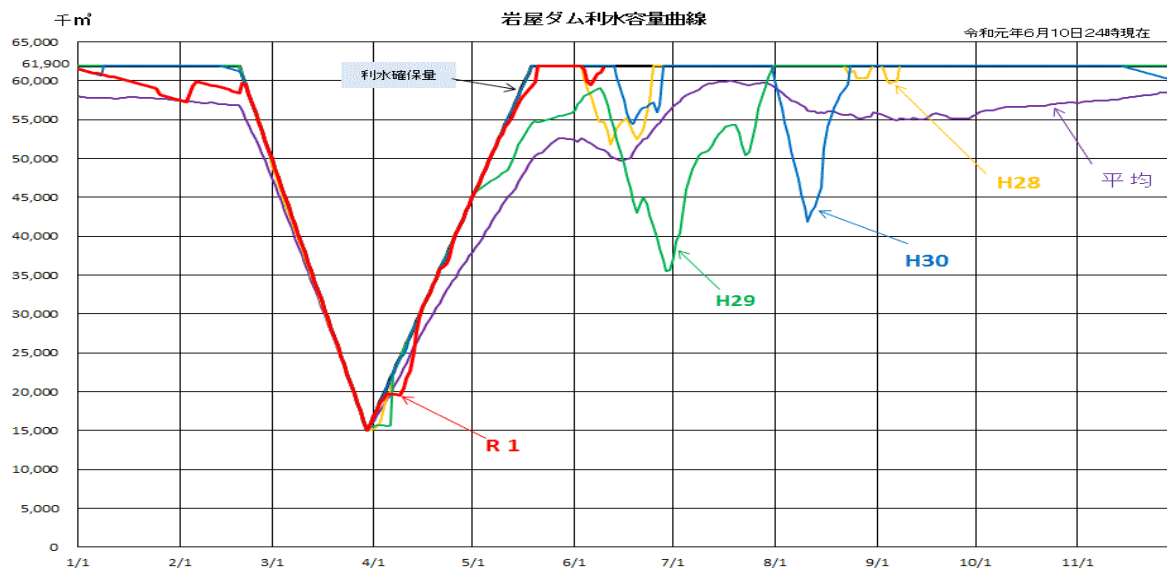
田植えもほぼ終わられて、利水者の皆様には忙しい農作業も一段落のことと思います。田植えの終わった田んぼでは、さまざまな生物が本格的な活動をはじめており、早苗の緑が連なる田んぼからはカエルの大合唱が聞こえ季節が夏に向かっていくことを感じさせられます。

さて、これから本格的なかんがい期が始まり、水の需要も増してきますが、水源地である岩屋ダムの利水貯水量は、6月10日現在、6,166万トンと99.6%の貯水率となっています。東海地方は、平年より1日早い6月7日頃に梅雨入りしたと見られるとのこと(名古屋地方気象台発表)ですが、引き続き、今後の気象、貯水状況には注視していく必要があると考えております。

と考えております。

一方、農業用水取水量は、6月10日現在、914万トン(取水率21.8%)で、過去3か年の平均取水量より10万トン程多くなっています。

右岸用水における農水の年間総取水量は、4,190万トンと定められています。そのため、**河川、ため池等の地区内水源を最優先に利用**していただくとともに、降雨時には給水栓を閉めていただき、右岸用水の有効活用にご協力をお願いします。



◇定期監査を実施◇

5月17日(金)、木村総括監事、臼田監事、小栗監事による定期(中間)監査が連合事務所にて執行されました。

初めに、今年度の「監査計画について」を原案のとおりご承認頂いた後、昨年12月から今年4月までの新旧年度の出納検査が行われ、諸帳簿の整理状況や証拠書類との照合等、終始熱心に審査され、「特に指摘事項なし」とお認め頂きご承認を得ました。

監査終了後には、岩屋ダム(下呂市)を視察し、担当者からダムの目的、構造、設備、水管理の制御方法、その他イベント情報等について懇切丁寧な説明を受け、有意義に研修を終えることができました。



岩屋ダム管理所の金藤所長から説明を受けました。

◇漏水補修工事を実施◇

4月22日、関市西田原地内の坂祝支線(口径125mm、鋼管)で漏水補修工事を行いました。漏水の原因は、管の電食によるもので、漏水部分を金属溶接で被覆し補修しました。また、管の継ぎ手部の劣化(ボルト腐食)も確認できたので、併せて補修しました。



道路掘削



漏水(電食)



金属溶接被覆



継ぎ手部劣化



継ぎ手部補修



道路舗装復旧

◇『中干し節水』実施にご協力を！

右岸用水の有効利用と過剰分けつを抑制し、根を活性化させて倒伏しにくい丈夫な稲を作るためにも『中干し節水』の実施にご理解とご協力をお願いします。

早 植 え 田	中 干 し	6/20~6/24 (5日間)	美濃加茂市・坂祝町・富加町・七宗町・八百津町・関市
		6/25~6/29 (5日間)	川辺町
普 通 植 え 田	早 期 中 干 し	6/12~6/16 (5日間)	美濃加茂市
		6/8~6/12 (5日間)	坂祝町・富加町・七宗町・八百津町・関市
		6/25~6/29 (5日間)	川辺町

